

2012年度 人権教育研究所・人権委員会活動報告

戸 江 茂 博

DOE Shigehiro

人権教育研究所・人権委員会の構成

2005年度に人権教育研究所が発足して以来、各学科から選出された5名の人権委員は、同時に人権教育研究所の構成員となっています。人権委員会は委員長と各学科の人権委員に加え、事務職員3名の計9名で構成されています。事務局は企画・調査室に設置され、人権委員会の運営やニュースレターの発行、人権研修会の企画・実施などを担当しています。

以下、2012年度の活動をご報告します。

1) 人権委員会報告

例会は原則として毎月第3金曜日の12:15~12:45です。

委員会の構成は戸江(委員長)、笹川(総文)、新保(児教)、伊東(心理)、横山(福祉)、木内(Jr.)、池田(教務)、高橋(会計)、原田(学生)。

人権委員会の議題と報告事項は次の通りです。

< 4月27日 >

- ・学内人権研修会のテーマと日程
- ・学外研修会への参加について(2つの研修会)
- ・対応のしおりの改定版の作成と配布時の説明について
- ・ニュースレター発行について

< 6月1日 >

- ・新委員長就任あいさつと活動方針
- ・学内人権研修会日程とテーマについて
- ・人権ニュースレターの発刊について
- ・学外研修会への参加について

< 6月29日 >

- ・学内人権研修会について
- ・人権ニュースレターについて
- ・学外研修会報告(伊東教員)

< 9月28日 >

- ・人権作文コンクールについて
- ・今年度第2回学内研修会について
- ・人権ニュースレターの発刊について
- ・補正予算についての報告

< 10月19日 >

- ・人権作文コンクールの募集経過と審査担当者について
- ・今年度学内第2回学内研修会について
- ・人権ニュースレターの発刊について
- ・人権委員会の規程改正についての報告

< 11月16日 >

- ・人権作文選考について
- ・予算申請について
- ・学内研修会について
- ・ニュースレターの発行についての報告

< 1月18日 >

- ・今年度第2回学内研修会について
- ・人権教育委員会の組織変更について
- ・人権作文コンクール表彰式の報告
- ・ニュースレター発刊についての報告
- ・次年度予算についての報告
- ・次年度人権教育研究所客員研究員についての報告

< 2月20日 >

- ・「人権ハラスメント防止しおり」改正について

< 3月6日 >

- ・「人権ハラスメント防止しおり」について

2) 人権ニュースレター発行について(敬称略)

第28号(2012年8月24日)

- ・ごあいさつ(戸江茂博)
- ・第1回人権研修会開催される(戸江茂博)
- ・全国大学同和教育研究協議会総会
- ・シンポジウム報告書(伊東真里)

第29号(2012年11月28日)

- ・被災地仲間(大島 剛)
- ・東北の被災地を訪問して(福本祥子、湊紗矢香)
- ・仙台でのボランティア活動(神戸親和女子大学 ユネスコ部)

第30号 (2013年1月21日)

- 2012年度人権作文コンクール入選作品のご紹介
- 最優秀作品
「人の繋がりの大切さ」
児童教育学科 山田 梨世
- 優秀作品
「共生の心を育む
一人権を大切にす文化を築くために」
児童教育学科 高田 知佳
「笑顔の輪は世界共通」
児童教育学科 萩原 治美
- 入選作品
「ひとりともんな」
児童教育学科 安東菜津美
「東日本大震災復興ボランティアに参加して」
児童教育学科 井上莉果子
「生きること」
児童教育学科 後藤 陽子

3) 学外人権研修会

全国大学同和教育研究協議会総会・シンポジウム
日 程：2012年6月10日(日)
会 場：関西学院大学梅田キャンパス
出席者：伊東 真理教員

4) 学内人権研修会

2012年7月25日(水)
講 師：北口 末広氏
(近畿大学人権問題研究所教授、
本学人権教育研究所客員研究員)
研修目的：教職員の人権意識の啓発と向上を目的と
して研修会を実施する。
テ ー マ：「大学の人権課題とその対応—ハラスメ
ント問題を中心に—」
参加者数：111名

5) 人権作文コンクール

人権教育作文の募集と優秀作品の選考を行いました。
ゼミを通して多くの学生からの投稿を求めました。

①募集内容

目 的：人権教育推進の一環として人権作文の募集
を行い、学生一人ひとりの人権への意識を高揚す
るとともに、人権問題への主体的取り組みを促す。
募集対象：1～4年の全学年

作文テーマ：「共生の心を育む一人権を大切にす
文化を築くために—」

原稿書式：40字×30行 1,200字程度(本文)
A4判横書き

原稿提出先：学生担当カウンター前のボックス

応募期限：2012年11月16日(金)

賞 品：最優秀賞 1名 10,000円(図書券)
優 秀 賞 2名 5,000円(同上)
佳 作 3名 2,000円(同上)

選考方法・委員：人権委員2名(戸江・伊東)、日
本語教育担当教員1名(笹川)、学生2名(親学
会：入谷・萩野) 計5名

各委員は独自に匿名の原稿を審査、上位3名を選
抜、被選抜数上位6名を入選者とし、その後5名で
合議の上、賞を最終決定。入選作文は委員会内で内容
をチェックする。

入選作品の発表：人権ニューズレターで紹介

②応募数と入選結果

応募総数：80編

| | |
|-------|-----------------|
| 最優秀賞 | 山田 梨世(児童教育学科3年) |
| 優 秀 賞 | 高田 知佳(児童教育学科1年) |
| | 萩原 治美(児童教育学科3年) |
| 入 選 | 安東菜津美(児童教育学科3年) |
| | 井上莉果子(児童教育学科3年) |
| | 後藤 陽子(児童教育学科3年) |

③表彰式

12月21日(金)12時15分より、学長応接室にて人
権作文コンクールの表彰式が執り行われました。上
記6名の受賞者及び学生選考委員2名、人権委員4
名が列席し、学長より賞状と賞品が授与されました。
また学生選考委員2名に対して労をねぎらい学長よ
り感謝の辞が述べられました。

6) 次年度の課題

これまでの「人権委員会」が、25年度より「人権教
育委員会」に変わります。役割や業務に大きな変更
はないですが、学内での人権教育の啓発活動や人権
教育の推進をいっそう進めていくことが、私たち委
員会の次年度の課題です。このために、次年度は人
権意識や共生感覚を具体的な行動の中で生かしてい
くこと、また、ハラスメントを起こさない意識や行
動などをキーワードとして取り組んでいきたいと思
います。